



横浜銀行 ニューヨーク駐在員事務所

週間トピックス Vol. 470 (2017. 12. 29)

<今週のトピックス>

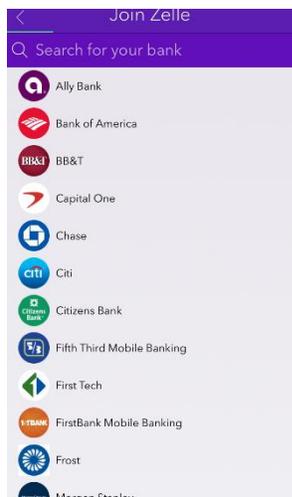
個人間送金アプリ Zelle

前回のレポートで米国ではまだまだ小切手での決済が一般的と書きましたが、個人間の送金では、スマホアプリを利用したサービスも台頭してきています。今回はそのひとつである Zelle というアプリケーションをご紹介します。

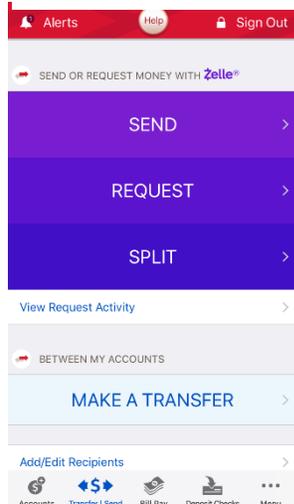
アプリを立ち上げ携帯電話番号を登録するとまずは銀行のリストが出てきます。(図①) このリストに自分の利用している銀行があれば Zelle のサービスを自分の銀行のモバイルアプリから利用することもできます。

このサービスは相手の携帯電話番号かメールアドレスが分かれば先方がこのサービスを利用しているかどうかにかかわらず送金や支払いの依頼が可能です。Zelle の利用は無料で可能です。(利用する銀行によっては手数料がかかる可能性があります。) 送金限度額は銀行アプリ経由の場合は銀行ごと、Zelle を直接利用した場合は利用実績に応じて変わります。また銀行ごとにサービスの内容も少々異なるようで、例えばバンクオブアメリカのアプリ内で利用すると「送金 SEND」、「支払い依頼 REQUEST」のほかに登録メンバー同士での「割り勘 SPLIT」にも対応してくれます(図②)。同シティバンクでは割り勘対応機能はありませんでした(図③)。

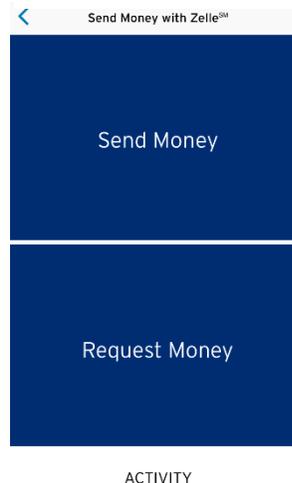
(図 1) Zelle 銀行選択画面



(図 2) BOA アプリ内 Zelle



(図 2) CITI アプリ内 Zelle



銀行アプリ内で他社のサービスがシームレスに動いているというところに非常に驚きを感じます。銀行がこういった外部サービスを自身のアプリに取り込むことで顧客利便性を高める動きは今後も広がっていくかも知れません。

- ・本レポートは情報提供のみを目的として作成したものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・ご利用に関しては、すべてお客さま自身でご判断くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
- ・本レポートは信頼できると思われる情報に基づいて作成していますが、当行はその正確性を保証するものではありません。
- ・本レポートのご利用によりお客さまがいかなる損失、損害を受けられても当行は一切の責任を負いません。
- ・本レポートはお客さま限りでご利用くださいますようお願いいたします。